

経営比較分析表

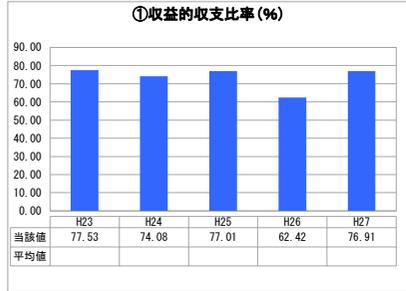
岐阜県 本巣市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	46.75	100.00
1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)			
3,996			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,175	374.65	93.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,371	10.37	1,578.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



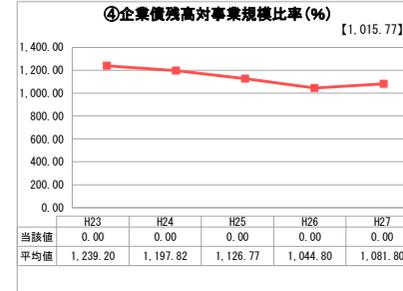
「単年度の収支」



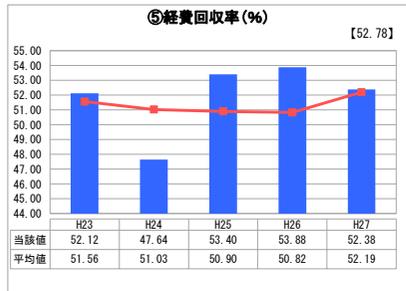
「累積欠損」



「支払能力」



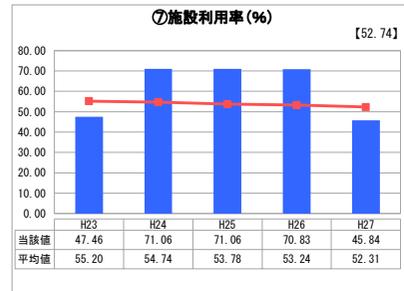
「債務残高」



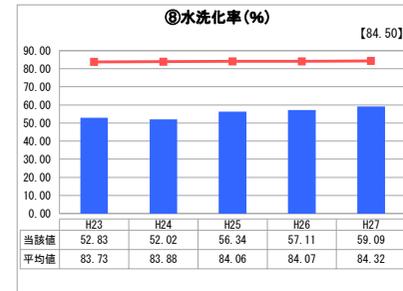
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

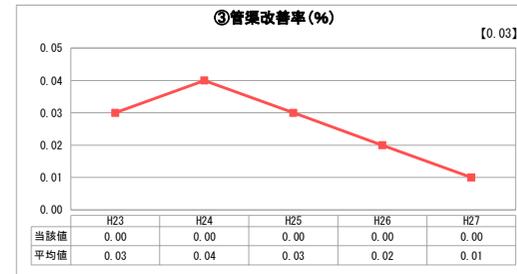
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業においては、規模が大きくないため収益は多く見込まれず、維持管理費を使用料収入だけでは賄うことができない状況のため、借入金償還金は全額一般会計からの繰入金に依存せざるを得ない状況になっています。しかし、施設整備は終了していることから、借入金も平成30年度に償還のピークを迎え、その後は毎年の償還金が減少する見通しです。それに伴って一般会計からの繰入金も減少する見込みであるため、今後は経営改善が見込まれます。

類似団体との比較では、経費を使用料にて回収する率は同等ですが割合程度であり、その他を一般会計で負担しています。

また、汚水処理にかかる原価については、有収水量に比べ汚水処理費が少ないことから類似団体と比べ低くなっています。

施設の規模に対する利用状況については、平成24年度から雨天時を含む処理水量としていましたが、平成27年度以降については、雨天時を除く処理水量へ見直しをいたしましたので類似団体と比べ低い状況となっています。

水洗化率については上昇傾向にありますが、更なる加入促進を進めることにより、引き続き向上を図ることが必要です。

2. 老朽化の状況について

施設が、平成8年4月供用開始で比較的新しく、使用できる期間が十分にあるため、老朽の問題は特にありませんが、将来的には更新に充てる財源の確保が必要です。

全体総括

施設の整備は終了しており、今後、新たな加入による収益の増加と施設の維持管理の効率化による経費の抑制などにより経営改善を図ります。

そのため、下水道整備区域内における単独処理浄化槽や汲み取りからの下水道への転換について、広報誌やホームページなどでPRをし、下水道接続率を上げ使用料収入の増加を図ります。

また、将来的な施設更新の財源確保は、維持管理による経費を削減するなど、計画的な保守点検や修繕を行いながら効率的な事業運営に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。